

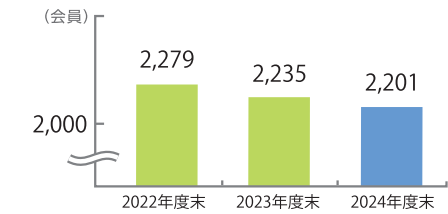
2024年度の事業環境と業績

事業環境

長引く物価上昇、「金利のある世界」の再来、賃上げ機運の高まりなど、2024年度は日本経済の転換点とも言える環境変化が生じました。こうした状況の下、地道に「ろうきんの理念」や「グッドマナーの循環」などを多くの方にご理解・共感いただき、当金庫の存在価値を高める取組みを進めてまいりました。

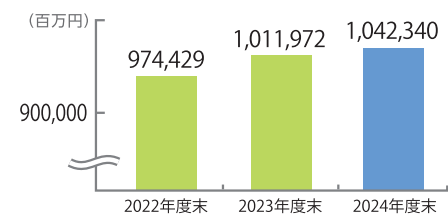
業績の概要

■会員数の推移
2,201会員



団体会員の加入促進により新たに15会員が加入した一方、「間接構成員の減少」等を理由とした脱退が49会員ありました。

■融資残高の推移
1兆423億40百万円



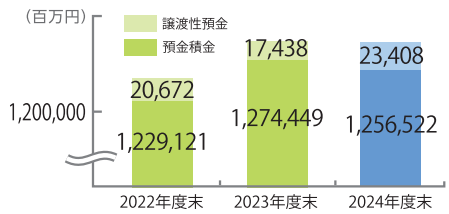
会員・住宅業者と連携したセミナー実施や「家計見直し運動」、デジタルツールによる相談体制の強化等により、期首比増となりました。

●主な事業状況の推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経常収益	14,953	14,885	14,974	15,000	15,191
経常利益	2,728	2,926	3,043	2,892	2,319
当期純利益	2,058	2,196	2,292	2,165	1,765
純資産額	84,424	84,771	83,434	83,932	81,322
総資産額	1,343,335	1,347,219	1,396,688	1,432,508	1,429,795
貸出金残高	898,842	931,556	974,429	1,011,972	1,042,340
有価証券残高	144,151	137,204	125,558	121,463	108,811
預金積金残高	1,154,218	1,199,923	1,229,121	1,274,449	1,256,522
出資総額	3,860	3,856	3,849	3,842	3,811
出資総口数（口）	3,860,523	3,856,836	3,849,612	3,842,234	3,811,919
出資に対する配当金	115	115	115	115	114
職員数（人）	694	672	662	637	627
単体自己資本比率（％）	11.23	10.96	10.59	10.39	11.42

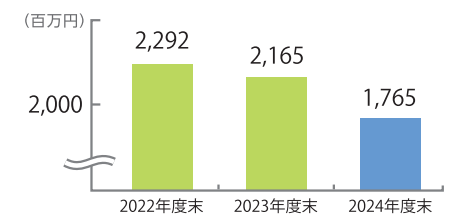
（注）1. 預金積金残高は、譲渡性預金を除いて記載しています。 2. 2021年度から「収益認識に関する会計基準」が適用され財務諸表等を税抜方式で記載しています。

■預金残高の推移
1兆2,799億31百万円



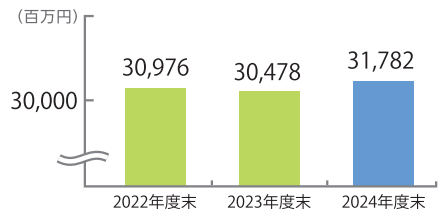
入札金利水準の上昇による公金預金の流出や、貯蓄から投資への流れによる積立預金の残高減少等が影響し、期首比減となりました。

■当期純利益の推移
17億65百万円



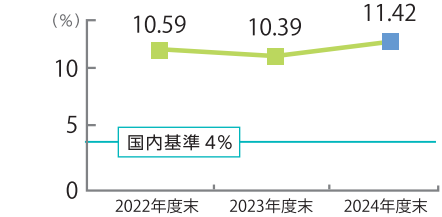
貸出金利息の増加や業務の電子化・効率化を通じたコスト削減等により、計画値を上回る17億65百万円となりました。

■預かり資産残高の推移
317億82百万円



給与振込や積立預金を軸に、NISAやiDeCo等を組み合わせた「ろうきんらしいポートフォリオ」の提案により、期首比増となりました。

■自己資本比率（単体）の推移
11.42%

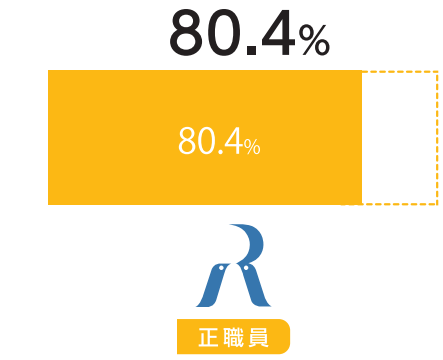


会計基準の変更（バーゼルⅢ最終化）に対応した結果、リスクアセット額が減少し前期比+1.03ポイントの11.42%となりました。

働きやすい職場の環境整備（2024年度各種実績）

当金庫は、「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」としてその社会的使命と役割を果たすために、職員が心身ともに健康で安心して働き続けることができる職場づくりとして、「仕事と子育ての両立支援」や「女性職員の更なる活躍に向けた環境づくり」などを積極的に推進しています。

■一人あたりに換算した有給休暇付与日数に対する取得日数の割合

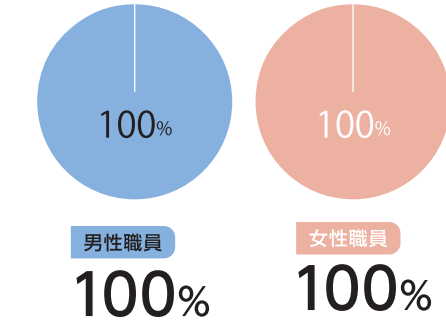


管理職を含めた全職員の年間平均有給休暇取得日数の増加に向け、年2回の年休計画表の作成や、保健衛生委員会における年休取得状況の労使確認等の対策を実施しています。

仕事と子育て、介護・治療の両立支援

「仕事と子育て」の両立支援のほか、介護休職や介護休暇、介護のための勤務時間の短縮に関する制度や長期にわたる疾病の治療と仕事を両立するための支援プログラムなど、「仕事と介護・治療」の両立支援を策定し、職員のやりがい・働きがいをしっかりと支える職場づくりを進めています。

■対象者のうち育児休業等（育児目的休暇制度を含む）を利用した職員の割合

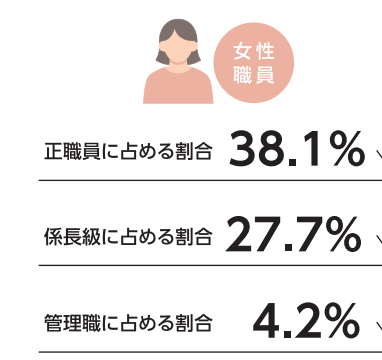


すべての職員が、性別に関わらず職業生活と家庭生活の両立を図りながら、十分に能力を発揮し活躍できる環境づくりに向けて行動計画を策定しています。

職員の健康管理

職員の健康管理に関する「静岡ろうきんの行動目標」および「心と体の健康づくり計画」を策定しています。2024年度は、計画に基づき「健康管理態勢」「健康診断・事後措置」「過重労働対策」「メンタルヘルス対策」「受動喫煙対策」等の具体的な取組みを通じ「健康経営」を推進しました。

■女性職員の割合



多様な人材活用として、特に女性職員のキャリア形成につなげる職場環境や教育体制を整えることを目的に行動計画を策定しています。

やりがい・働きがいのある職場づくりに向けた取組み“SHIFT”

中期計画『en縁』の基本戦略のひとつである「職員の満足度向上と信頼される組織・ひとづくり」の実践に向け、働き方改革、女性活躍、健康経営等、職員エンゲージメント向上に資する取組みを推進することを目的に、「やりがい・働きがいのある職場づくり推進委員会」を設置し、“SHIFT”をキーワードに活動を進めています。

取組みにあたっては、主要な3つの観点（テーマ）を「組織風土」「人事制度・ひとづくり」「業務・事務関連」と整理し、対話を通じて組織の課題解決に向けた施策を順次実施します。

